

■ 献血計画
 400mL 献血………30,304 人
 200mL 献血……… 187 人
 成分献血………10,130 人
 合 計………40,621 人

平成31年度に宮崎県で必要とされる輸血用血液製剤とアルブミン製剤等の血漿分画製剤の原料となる原料血漿を年間を通じて過不足なく供給するために必要な献血者数を次のとおり決めました。
 宮崎県内の患者様に日々必要な輸血用血液製剤を確保するために、献血バス1台当たり400mL 献血51人、献血ルーム1日当たり400mL・200mL 献血14人、成分献血28人を目標にご協力をお願いしております。
 近年の課題として、特に若年層（10代、20代、30代）の献血者確保、複数回献血者の増加を目指し、医療機関の需要に見合う献血者の安定的かつ効率的な確保に努めてまいります。県民の皆さまのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

保健所	市町村	目 標				配車計
		200mL	400mL	成 分	合 計	
中 央	宮崎市	0	9,000		9,000	172.0
	国富町	0	330		330	6.5
	綾 町	0	170		170	3.5
	計	0	9,500	0	9,500	182.0
日 南	日南市	0	970		970	20.0
	串間市	0	340		340	7.0
計	0	1,310	0	1,310	27.0	
都 城	都城市	0	5,000		5,000	94.5
	三股町	0	280		280	5.5
	計	0	5,280	0	5,280	100.0
小 林	小林市	0	1,000		1,000	20.5
	えびの市	0	510		510	10.5
	高原町	0	190		190	4.0
	計	0	1,700	0	1,700	35.0
高 鍋	西都市	0	555		555	11.0
	高鍋町	0	580		580	12.0
	新富町	0	500		500	11.0
	西米良村	0	80		80	2.0
	木城町	0	100		100	2.0
	川南町	0	330		330	7.0
	都農町	0	150		150	3.0
計	0	2,295	0	2,295	48.0	

保健所	市町村	目 標				配車計
		200mL	400mL	成 分	合 計	
日 向	日向市	0	1,435		1,435	29.0
	門川町	0	290		290	6.0
	美郷町	0	110		110	2.5
	諸塚村	0	60		60	1.5
	椎葉村	0	75		75	2.0
計	0	1,970		1,970	41.0	
延 岡	延岡市	0	2,900		2,900	57.0
	計	0	2,900	0	2,900	57.0
高千穂	高千穂町	0	275		275	6.0
	日之影町	0	80		80	2.0
	五ヶ瀬町	0	80		80	2.0
計	0	435		435	10.0	
移動献血車計		0	25,390	0	25,390	500
献血ルーム		187	4,914	10,130	15,231	364
合 計		187	30,304	10,130	40,621	864

人事異動のお知らせ

※配置換えについては、役職付以上

- 長 田 直 樹 (事業推進課 主事)
- 久 家 拓 也 (血液センター 供給課 主事)
- 吉 田 匠 希
- 内 西 智 春 (血液センター 献血推進課 主事)
- 大 平 山 秀 明 (愛媛県血液センター 大街道出張所長 (兼) 献血課長)
- 甲 斐 絢 香 (九州ブロック血液センター 用度課 主事)
- 八 坂 英 毅 (九州ブロック血液センター 経理課 主事)
- 杉 山 英 樹 (事業副部長 (兼) 総務課長)
- 押 川 秀 次 (学術・品質情報課長 (兼) 学術係長)
- 染 矢 香 代 (橋通出張所長)
- 井 野 良 典 (供給課長)
- 前 田 宏 美 (総務課 管理係長)
- 伊 作 洋 美 (学術・品質情報課 品質情報係長 (兼) 献血推進課 献血係長)
- 永 峯 美 智 代 (総務課 企画総務係長)
- 永 友 堯 瞬 (献血推進課 推進一係長 (兼) 推進二係長)
- 池 田 史 子 (橋通出張所 採血係長)
- 実 広 けい子 (採血課 採血二係長)
- 杉 山 英 樹 (定年退職)
- 高 野 歳 三

- ※4月1日付け 【転 出】 血液センター 献血推進課 主事
- 【転 入】 総務課 主事
- 【採 用】 総務課 主事
- ※4月1日付け 【転 出】 佐賀県赤十字血液センター 主事
- 【転 入】 事業副部長 (兼) 総務課長
- 総務課 主事
- 学術情報・供給課 主事
- 【採 用】 献血推進課 主事
- 献血推進課 主事
- 【再雇用】 橋通出張所 専門主任
- 【配置換え】 学術情報・供給課長 (兼) 学術係長
- 品質情報課長 (兼) 品質情報係長
- 橋通出張所長
- 総務課 企画総務係長 (兼) 管理係長
- 献血推進課 献血係長
- 献血推進課 献血予約推進係長
- 献血推進課 推進係長
- 採血課 採血二係長
- 橋通出張所 採血係長
- ※3月31日付け 【退 職】 事業副部長 (兼) 総務課長
- 橋通出張所 主事

義援金・救済金のご協力ありがとうございます。

*受付期間および金額は 2019.2.28 時点での情報です。

●受付終了

平成 29 年 7 月 5 日からの大震災義援金 2017. 7. 7 - 2019. 3.29 13,672,619 円

●受付中

東日本大震災義援金 2011. 3.14 - 2020. 3.31 652,354,664 円

平成 28 年熊本地震災害義援金 2016. 4.15 - 2020. 3.31 154,678,269 円

平成 30 年 7 月豪雨災害義援金 2018. 7.10 - 2019. 6.30 53,502,729 円

平成 30 年北海道胆振東部地震災害義援金 2018. 9.11 - 2019. 9.30 6,857,910 円

中東人道危機救済金 2015. 4. 1 - 2020. 3.31 4,265,486 円

パングラデシュ南部避難民救済金 2017. 9.22 - 2020. 3.31 88,434 円

香典返しを寄せられた方々 (2018.12.1-2019.2.28)

延岡市 佐藤 鈴子様
馬崎 美津男様
田中正昭様

都城市 木原 佐和子様

県支部 押川 秀次様
※順不同

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
ご遺志に沿い赤十字事業に有効に活用させていただきます。

赤十字みやざき

2019年 予算号



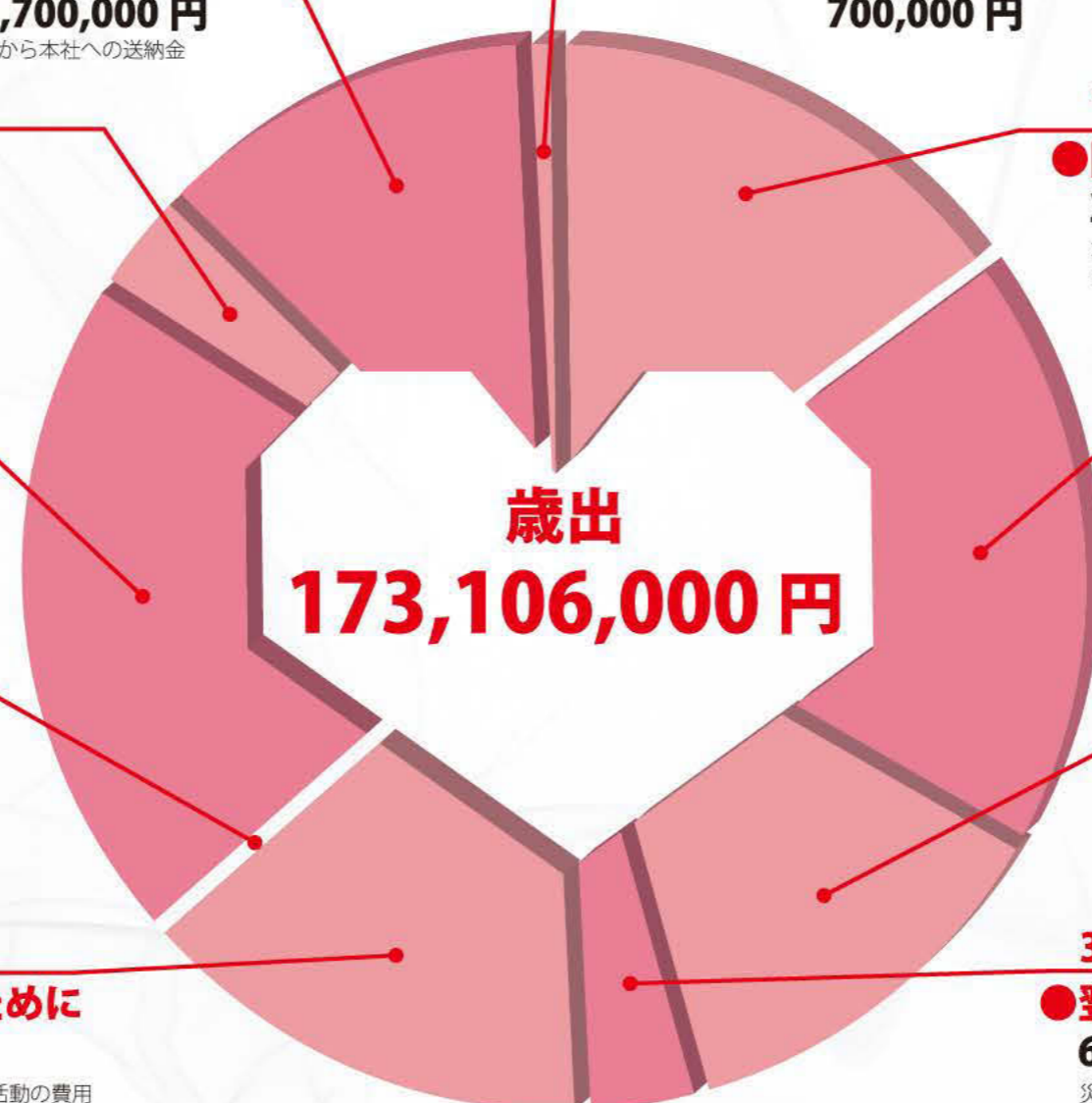
救



ひとりでも、多くの人を救う。

災害や紛争で苦しむ人々を救う救済活動
 地域のいのちと健康を守る赤十字病院。
 尊いいのちをつなぐ血液事業。
 苦しむひとに寄り添える看護師の育成。
 さらに、地域の人たちと支えあふ福祉事業やボランティア活動
 幅広い活動を支えるのは
 どんな時でも苦しんでいる人を救うという赤十字の精神。
 ひとりでも、多くの人を救う。

2019年度 一般会計歳入・歳出予算



12.0%
●本社送納金
20,700,000 円
支部から本社への送納金

0.5%
●予備費
700,000 円

15.0%
●国内の災害救護活動のために
26,043,000 円
救護班の派遣、救援物資の備蓄、救護実施体制を強化するための費用など

18.5%
●「守る」を広める活動のために
31,988,000 円
救急法などの講習会、奉仕団・青少年赤十字活動普及の費用（健康生活支援講習の促進、青少年赤十字防災教育プログラムの推進、ボランティア研修の強化など）

12.5%
●地域の赤十字活動を支援するために
21,600,000 円
地区・分区への事業費・事務費の交付金

3.7%
●翌年度以降の継続事業のために
6,355,000 円
災害救護活動、国際救護活動などの翌年度以降の実施に備えた積立金



0.1%
●海外での救護・開発協力活動のために
58,000 円
海外で紛争や自然災害、病気などに苦しむ人びとを救うための国際救援、開発協力の費用

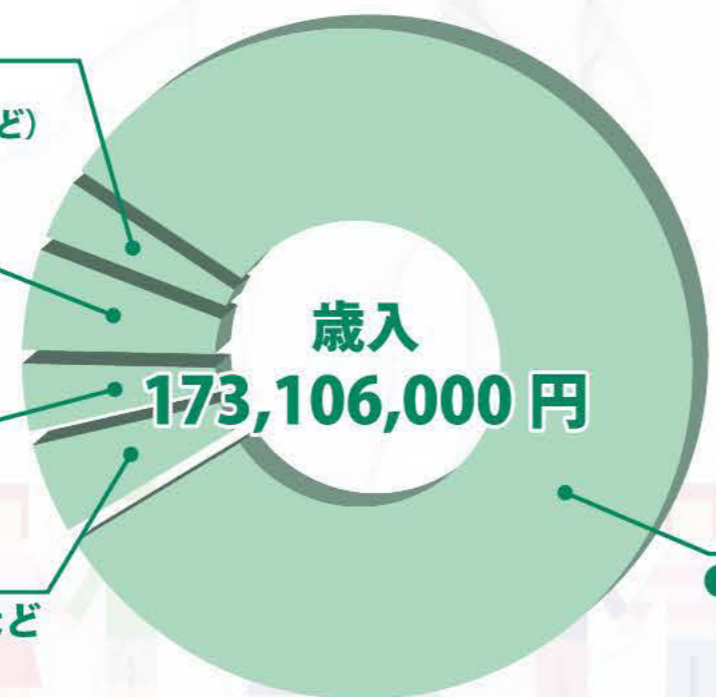
14.0%
●会員募集・広報のために
24,319,000 円
赤十字会員への参加呼び掛けや広報活動の費用

3.7%
●その他
(講習謝礼・教材負担金収入など)
6,120,000 円

5.5%
●施設利用収入など
9,576,000 円

3.8%
●本社交付金など
6,700,000 円

5.0%
●前年度繰越金など
8,710,000 円



82.0%
●会費 (赤十字活動資金)、寄付金など
142,000,000 円



皆さまからのご協力のもとに日赤宮崎県支部は人びとの健康的な生活や未来を支援する活動を行っています。
日赤宮崎県支部は皆さまに支えられて今年で130周年を迎えます。これからも活動資金への継続的なご支援をお願いいたします。

